
令和5年度香川県学習状況調査報告書について

令和5年度香川県学習状況調査を令和5年10月、11月に実施しました。香川県教育センターでは、調査結果について成果や課題が明らかになるよう、児童生徒の学習や生活の諸側面等に関する状況を分析し、本報告書にまとめました。それぞれの市町や学校の実情に照らし合わせて、本報告書を適切に活用した教育実践がなされるよう、活用支援を行います。

1 調査の概要

(1) 調査の対象

県内公立学校の小学校第5学年及び中学校第2学年の全ての児童生徒
〔学校数 小学校 153校、中学校 66校（附属学校及び県立学校を含む）〕

(2) 調査の時期

小学校：令和5年10月31日（火）～11月10日（金）
中学校：令和5年11月7日（火）～11月16日（木）

(3) 本年度の出題の主旨

「思考力・判断力・表現力等」の問題に重点を置いて出題し、「知識及び技能」を活用して課題を解決する力が育っているかどうかを測り、学習指導に係る検証改善サイクルの確立を図る。

2 調査の結果から

(1) 学んだ知識や読み取った情報を活用すること

- ・ 会話文や資料から読み取った事柄を踏まえて考える問題の正答率が低く、無解答率が高い。
- ・ 学んだ知識・技能を、生きて働く知識・技能として活用する問題の正答率が低く、無解答率が高い。

(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

- ・ 授業に自分の目標を持って取り組むことができていない児童生徒が一定数いる。

(3) 授業でのICT活用と家庭での時間の使い方

- ・ 授業でICT機器を週3回以上使用している児童生徒の割合が増加している。
- ・ メディアの利用時間が増加し、勉強時間や読書時間が減少している。

(4) 自己有用感に関すること

- ・ 自分にはよいところがあると肯定的に回答した児童生徒の割合が増加している。

3 市町教育委員会や学校への支援

- ・ 市町教育委員会や学校からの要請に応じて、指導主事を派遣し、調査結果に基づいた教育活動が行われるよう支援する。
- ・ 電話等で調査結果の分析や活用を支援する。